

大会展望

【男子】

注目校は、岐阜農林高校だ。冬の新人戦、決勝リーグで相手校を全て40点台に押さえる圧倒的なディフェンス力を発揮し優勝したのが記憶に新しい。平成19年以来36回目のインターハイ出場を狙うことになる。対抗は、美濃加茂高校だ。新人戦の決勝で敗れた雪辱を誓っている。大型1年生も入学し、更に攻撃的なオフェンスが展開されるだろう。中津川工業・岐阜総合高校・富田高校・大垣養老高校などのシード校の活躍と共に、決勝リーグでの激闘に期待したい。

A

第一シードの岐阜農林高校が頭一つ飛び抜けている。それに対抗するのは予選を勝ち抜いてきた岐阜地区2位の長良高校、中濃地区1位の可児工業高校か。

B

ブロック決勝では、岐阜総合高校と富田高校の戦いが濃厚だが、東濃地区を圧倒的な力で勝ち上がってきた土岐商業高校、中濃地区2位の帝京大可児高校の存在も気になるところである。

C

中津川工業高校、大垣養老高校の一騎打ちが予想される。岐阜地区1位の岐阜工業高校、飛騨地区1位の高山西高校が待ったをかけられるか。

D

美濃加茂高校が独走の予感も、大垣工業高校、中京高校、益田清風高校の活躍も期待できそうだ。シード校を破るチームが出てくるのかが楽しみだ。

【女子】

今大会も、優勝候補筆頭は岐阜女子高校である。インターハイは20年連続、ウィンターカップは22年連続と、他に付けている隙を与えない。昨年のウィンターカップでは、準優勝を飾るなど、全国的な強豪校として君臨している。全国での戦いを経験した下級生も多く残っており、今年も全国上位進出を狙っているだろう。対抗は、その地位を虎視眈々と狙う県立岐阜商業高校である。県内の優秀選手達がどこまで戦えるのか注目したい。また、高山西高校や土岐商業が、岐阜女子が女王の地位につくのを阻止することができるだろうか。

A

岐阜女子高校が圧勝することが予想される。中濃地区1位の郡上高校、岐阜地区2位の富田高校の活躍にも期待したい。

B

シード校の土岐商業高校が有力校と予想されるが、岐阜農林高校が冬の雪辱を果たすべく勝利を狙っているだろう。各地区を勝ち上がってきた飛騨地区1位の飛騨高山高校や東濃地区1位の中津高校の活躍にも期待したい。

C

高山西高校と長良高校の一騎打ちに割り入ってくるのは、どの高校か。地区大会上位で勝ち上がってきた西濃地区1位の大垣商業・東濃地区2位の恵那高校か。どのカードも面白い試合展開となるだろう。

D

第2シードの県立岐阜商業高校と岐阜総合学園高校が順調に勝ち上がるのではないだろうか。それとも西濃地区2位の大垣北高校や岐阜地区1位の各務原西高校が波乱を巻き起こすのか。予選を上位で上がってきたチームの勢いはシード校にしたら怖い存在となるのかもしれない。